



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2008, 91(3): 332-333

ISSUE DATE:

2008-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/142701>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成20年12月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第91巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol.91 no.3

物性研究

2008 / 12

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し議論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu 90 (2008), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

掲 示 板

★「修士論文」募集★

「物性研究」誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。本年も 2008 年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

本誌に掲載されれば、全国の大学図書館で貴修士論文を閲覧することができるようになります。また、本誌は、国立情報学研究所の CiNii で、創刊号からの電子版アーカイブを公開しています。

http://ci.nii.ac.jp/volIssue/nels/AN0021948X_jp.html

発行後 5 年は有料公開ですが、5 年経過すれば、無料で誰でも見られます。貴修士論文も、掲載後は、CiNii で公開され、オンラインで見られるようになります。奮って、ご応募ください。お待ちしております。

1. 募集締切：2009 年 3 月 31 日（火） [締切厳守]
2. 自薦、他薦は問いません。
3. 論文のコピーを 2 部 下記宛にお送り下さい。
4. 4 月以降の連絡先を明記して下さい。（E-mail アドレスは必ずご記入下さい。）

積極的な投稿を歓迎しますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。例年、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しています。掲載が決定した論文については、以下のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、体裁を整えていただく場合があります。
3. 現在のところ、本誌はカラー印刷はできません。カラー図版をご自分のホームページに置いていただければ、「物性研究」のホームページからリンクをはることができます。また、図を他の印刷物から転載している場合は、転載の許諾を著者ご自身にお願いすることになります。
4. 修士論文の著作権が、所属大学にある場合は、本誌に掲載することを届けて、許可を得てください。
5. 掲載された論文の著者には別刷 50 部を寄贈します。

[問合せ & 送付先]

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel: (075) 722-3540, 753-7051 Fax: (075) 722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

昨日、11月26日にインド最大の都市ムンバイでテロが発生した。毎日のように世界のどこかでテロが起こるため、テロのニュースに“鈍感”になりつつあるこのご時世であるが、今回は100人を越える多くの犠牲者がでたこと、その中に日本人が含まれていたことから、新聞、テレビで大きく報道されている。報道によると、占拠されていたホテルをやっと軍が制圧したそうだ。私にとっても今回のテロはただ事でない。12月中旬にムンバイで開催される会議に呼ばれていたからである。ちょうどビザを取得し、航空券の発券も済ませたところであった。私のペンネームに関連するモデルを作った理論家を産み出したこの国には10年来、行きたいと思っており、その夢が叶う寸前の出来事であった。ムンバイでは厳戒態勢は続くと思われるのでしばらくテロは起きないという楽観的な見方もあるかもしれないが、家族、研究室の学生のことを思うと、そこまでリスクを冒して行くことはできない。

人類は皆、科学技術の発展で全てのことが便利になると信じてきた。国と国との“精神的”な距離がますます近くなり、世界のどこへでも行こうと思えば簡単に行けるようになって感じてきた。ところが、9.11を境に歯車は逆に周りはじめたように思える。人間が飛ばなくてもインターネットで情報は運べる。私達研究者も例外無くインターネットの恩恵をいろいろな意味で受けている。例えば、海外の共同研究者のコミュニケーションも非常に早くなった。(そういえば私が学生のころは、インターネットが普及しはじめた頃で、通信に手紙やファックスも頻繁に使っていたが、手書きの英文が判読出来なくて苦勞したことを思い出した。)しかし、顔と顔を合わせることは重要であることを我々は知っている。何回メールを交換しても、電話で話しても埒があかなかったことが、実際に会って対話することで簡単に解決する場面は多い。

何はともあれ世界に平和が訪れることを切に願う。

(直交ダイマー)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
御手洗菜美子 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 91 卷第 3 号 (平成 20 年 12 月号) 2008年12月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

Non-Equilibrium Soft Matter

Proceedings of the International Symposium

谷口 貴志、太田 隆夫 編集

この巻は京都大学芝蘭会館にて、2008年6月2日から6月5日の期間に開催された国際会議“非平衡ソフトマターの物理学 (Non-Equilibrium Soft Matter)”の会議録を収録したものである。この会議は、文部科学省科学特別研究費補助金特定領域研究「非平衡ソフトマター物理学の創成：メソスコピック系の構造とダイナミクス」プロジェクト（課題番号 463, 2006 年度から 2010 年度）の研究活動の一つとして企画開催されたものである。

「ソフトマター」という用語は、高分子や液晶、コロイド、エマルジョン、そして、生体などの物質を指す総称である。ソフトマターの研究において特に興味のある、あるいは、重要なことは、メソスケール構造の自己組織化や非平衡状態、そして、流れ場/応力場、電場、磁場のような外場の下での分子の会合の動力学を、統一的観点から明らかにすることである。

この巻は、これらのテーマについて、将来有望な研究者、そして世界の主要実験グループのリーダー、理論については各分野の世界的な第一人者による報告を収録したものになっている。この巻で取り上げられている具体的テーマは、ソフトマターの平衡状態についての実験的、理論的研究はもとより、高分子濃厚系での構造形成における分子のダイナミクス、メソスケール構造の相転移およびそのダイナミクス、ソフトマターと関連した非平衡開放系、そして、統計物理学に基づく非平衡ソフトマターの理論及びコンピュータシミュレーションなどである。

頒布価格 個人払 ¥2,835 (個人払の方はご希望の号を明記の上、郵便振替でご注)
 機関払 ¥4,410 (文下さい。機関払の場合は下記までお申込み下さい。)

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内

理論物理学刊行会

郵便振替口座
01050-6-3977

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail ptp@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~ptpwww>

Prog. Theor. Phys. Supplements

- 2006 No.165 Physics of Non-Equilibrium Systems: Self-Organized Structures and Dynamics Far from Equilibrium, *Proceedings of the 20th Nishinomiya-Yukawa Memorial Symposium* Ed. by T. Ohta and M. Murase
- 2007 No.166 Quantum Mechanics and Chaos, *Proceedings of the International Conference* Ed. by K. Nakamura, T. Harayama and K. Takatsuka
- No.167 The Jubilee of the Sakata Model, *Proceedings of the International Symposium pnA150* Ed. by M. Harada, Y. Ohnuki, S. Sawada and K. Yamawaki
- No.168 New Frontiers in QCD — *Exotic Hadrons and Hadronic Matter* —, *Proceedings of the Yukawa International Seminar 2006 (YKIS2006)* Ed. by T. Kunihiro, H. En'yo, M. Harada, T. Hatsuda, A. Hosaka, D. Jido, Y. Kanada-En'yo, S. H. Lee, A. Nakamura, T. Nakano, M. Oka and H. Suganuma
- No.169 The Extreme Universe in the Suzaku Era, *Proceedings of the International Conference Suzaku2006* Ed. by K. Hayashida, T. G. Tsuru and K. Koyama
- No.170 Progress in Modern Physics, *Proceedings of the Yukawa-Tomonaga Centennial Symposium* Ed. by R. Ikeda, Y. Kanada-En'yo, T. Kugo, M. Sasaki and N. Sasao
- No.171 Noncommutative Geometry and Quantum Spacetime in Physics, *Proceedings of the 21st Nishinomiya-Yukawa Memorial Symposium on Theoretical Physics* Ed. by N. Sasakura and S. Watamura
- 2008 No.172 VIII Asia-Pacific International Conference on Gravitation and Astrophysics (ICGA8), *Proceedings of ICGA8* Ed. by M. Kenmoku and M. Sasaki
- No.173 What is Life? The Next 100 Years of Yukawa's Dream, *Proceedings of the 22nd Nishinomiya-Yukawa Memorial Symposium* Ed. by M. Murase and I. Tsuda
- No.174 New Frontiers in QCD 2008 — *Fundamental Problems in Hot and/or Dense Matter* —, *Proceedings of the YITP International Workshop/Symposium* Ed. by T. Kunihiro, K. Fukushima, T. Hirano, H. Iida, K. Iida, M. Kitazawa, M. Tachibana and T. T. Takahashi
- No.175 Non-Equilibrium Soft Matter, *Proceedings of the International Symposium* ... Ed. by T. Taniguchi and T. Ohta

頒 価	個 人 払	機 関 払
No. 165	¥ 2,625	¥ 4,200
Nos. 166, 167	¥ 3,045	¥ 4,620
No. 168	¥ 10,710	¥ 12,285
No. 169	¥ 5,355	¥ 6,930
Nos. 170, 172	¥ 3,780	¥ 5,355
No. 171	¥ 4,830	¥ 6,405
No. 173	¥ 5,985	¥ 7,560
No. 174	¥ 5,775	¥ 7,350
No. 175	¥ 2,835	¥ 4,410

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 91-3 (12月号) 目 次

○研究会報告

「不均一超伝導超流動状態と量子物理」…………… 225

○修士論文 (2007年度)

籠状構造を持つ系における異常な格子振動の理論 …… 山影 相 …… 263

量子スピン系におけるグリーン関数法

— t - J モデルの擬スピン表示— …… 山本 大輔 …… 299

○掲示板

「修士論文」募集 …… 332

○編集後記 …… 333

物 性 研 究 91-3 (12月号) 目 次

○研究会報告

「不均一超伝導超流動状態と量子物理」…………… 225

○修士論文 (2007年度)

籠状構造を持つ系における異常な格子振動の理論 …… 山影 相 …… 263

量子スピン系におけるグリーン関数法

— t - J モデルの擬スピン表示— …… 山本 大輔 …… 299

○掲示板

「修士論文」募集 …… 332

○編集後記 …… 333